

第4回 総務部会 会議報告

日 時:令和7年10月21日(火)
18時00分~19時00分
場 所:川岸小学校 ふれあい教室

○次 第

1. 開会
2. 総称の検討状況と今後のスケジュールについて
3. 義務教育学校校名募集要項(案)について
4. その他(校章・校歌の検討の進め方など)
5. 閉会

○配布資料

- ・義務教育学校(小中一貫校)の校名募集要項案(チラシ含む)

○会議の内容

①総称の検討状況と今後のスケジュールについて

第3回総務部会(5月29日開催)以降、市で義務教育学校と認定こども園の総称について検討を重ねてきた。現在のところ、この施設を一体とした総称については「川岸学園」とする方向で検討を進めたいという方針が示された。

・総称の決定スケジュール

総称(川岸学園)について、12月15日に予定されている総合教育会議および全員協議会(議会関係)に向けて正式に決定し、公表する流れが考えられている。この総合教育会議は、市長部局(認定こども園を管轄する子ども課)と教育委員会(学校を管轄)それぞれに影響する事項について、市長と教育長が同席し調整を行う場で、新聞報道記者を入れて公表が行われる。

・校名募集スケジュール

総称が正式に決定した後、校名および園名の公募が実施される予定であり、時期としては1月頃を予定している。公募期間は概ね1ヶ月間を見込んでいる。

公募後、3月頃までに応募内容を集計し、総務部会として校名を3案程度に絞り込む作業を行う。その後、市側でアンケートを実施し(総務部会で絞った3案に市が考える案を加えて実施する可能性も検討中)、設立準備委員会等での検討を経て、最終的な校名決定は6月頃、あるいは夏の終わり頃になる見込みである。

②義務教育学校校名募集要項(案)について

第3回総務部会で出た意見に基づき、募集要項案がまとめられ、報告された。

- **募集要項の骨子**：概要、義務教育学校で大切にしたいこと、校名の選考、募集内容、募集期間、応募資格、応募方法、注意事項、問い合わせ先といった項目で構成されている。
- **名称の募集形式**：校名は「岡谷市立(〇〇)義務教育学校」として募集し、括弧の中の「まるまる」の部分について公募をかける。
- **施設総称の明記**：義務教育学校と認定こども園を一体とした施設名称は「川岸学園」となることが明記される(現在は「検討中」だが、決定次第修正)。
- **選考方法**：応募案の絞り込みを行った後、選考のためのアンケートを実施し、最終的には岡谷市の定例教育委員会や総合教育会議等での協議を経て、議会の議決により決定される。
- **応募資格**：川岸小学校・岡谷西部中学校の在籍児童生徒・保護者及び教職員、川岸地区住民(橋原区、三沢区、新倉区、鮎沢区、駒沢区)、川岸地区にゆかりのある方、川岸学園構想に思いのある方とする。
- **応募方法と注意事項**：応募用紙による投函、郵送、FAX、電子メールのほか、Webサイトの応募フォームによる応募を可能とする。応募は匿名不可で、氏名、住所、連絡先の記入が必要である。なお、認定こども園の名称は別に募集される。

会議で出た意見について

- **低学年児童の応募方法の簡素化**：小学校1～3年生は端末(Googleフォーム)での入力、特に住所や連絡先の記入が困難であるため、学校用のフォームでは住所・連絡先を削るなど、地域用と学校用でフォームを分けてシンプル化する必要性がある。
- **応募期間の調整**：公募を1月に行うにあたり、冬休みやお正月を挟むことで家族で検討する機会が増えるメリットがある一方、年明けすぐは仮設校舎への引っ越し作業(1月9日頃～)で学校側が多忙になるため、学校に配慮し、公募期間(1ヶ月間)のなかで学校側の提出期間は柔軟に対応すべきとの意見が出た。
- **総称の使い道**：総称である「川岸学園」の正式な使用方法(看板等)について質問があり、先進事例では条例上の正式名称とは別に「愛称」として使用しているケースが多いことが説明された。正式名称に「学園」をつけることも可能ではあるが、総称と混同される恐れもある。
- **意見の市民への還元**：応募された校名案の提案理由や思いが、最終的に採用されなかった場合も含め、市民に還元されるのかという質問に対し、市側は「川岸学園ニュース」やホームページ等のプラットフォームを通じて、応募件数や絞り込みの根拠となる意見を公開していく方針を示した。

今後の進め方

- ・ 今回出た意見(特に低学年児童への応募方法の調整や、公募期間の柔軟性など)を踏まえ、募集要項案およびチラシの内容を修正し、精度を高める。
- ・ 認定こども園の募集担当部署とも連携し、公募期間の足並みを揃えるよう調整を行う。
- ・ 12月15日の総合教育会議等での総称の正式決定に向けた準備を進める。
- ・ 校名募集の公募開始(1月)に備え、募集要項の最終確認を行う。
- ・ 校名が決定した後、総務部会が所管する校章・校歌といった項目についても、検討を進めることとする。特に、過去の統合事例を踏まえ、開校後の早い時期(卒業式を迎える前)に校歌が歌えるよう、検討を急ぐべきという意見が共有された。

次回の予定

- ・ 総称に関する市・教育委員会の方針が定まってからとなるため、次回は12月15日(月)に開催する。時間は18時00分からとする。
- ・ 次回の総務部会では、総称の正式決定(12月15日)後に、その内容や今後のスケジュール、修正後の募集要項等について確認する。